

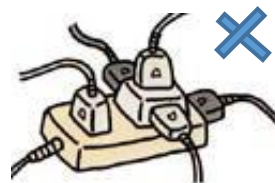
# 電気器具類による火災対策チェックリスト

- ☆ 電気器具類等は、日常生活において欠かすことのできないものですが、使用者の不注意や誤った使用方法により使用した場合は、火災につながる恐れがあります。
- ☆ 電気器具類等を使用する際には、以下のことに注意しましょう！！

## 1、タコ足配線などの電気コードの取扱いに注意！

### ① タコ足配線と容量オーバーに注意

- 延長コードや電源タップを連結した「タコ足配線」はしない
- 接続可能な最大消費電力を超えて使用しない



※ コードや電源タップには、一度に流すことが出来る電気の量が決められています。決められた容量を超えて使用すると、発熱・発火し火災の原因となる恐れがあります。電源タップの許容量を超えていないか、確認しましょう！

### ② 電気コードを丁寧に取扱う

- 電気コードを重たいもの(家具など)の下敷きにししない
- 電気コードを束ねたまま使わない
- 電気コードを引っ張らない、抜き差しする時はプラグを持つ



※ 電気コードを痛んだ状態や束ねた状態、重いものがのった状態で使用すると、電気コードの中の銅線が断線し、発熱。発火し火災の原因となる恐れがあります。電気コードは、丁寧に扱きましょう。また、痛んだ電気コードは早めに交換しましょう！

## 2、コンセント周りはきれいにする

- 定期的に点検・清掃する(見えにくい場所のコンセントは特に注意)
- 使わないプラグは抜いておく
- プラグはコンセントにしっかり差し込む



※ コンセントと電気プラグの間にほこり等が溜まり、付着したほこり等に湿気が帯び、通電すること(「トラッキング現象」)により発火し火災となることがあります。トラッキング現象を防ぐため、時々プラグを抜いてプラグ付近のほこりを取り除きましょう！